

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
 本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	3D SBF-SEM を用いたアルドステロン産生腺腫の生物学的活性の評価、および、臨床的意義に関する検討			
2. 対象患者	以下の期間に原発性アルドステロン症の診断で手術を施行された方で、副腎の組織だけでなく、腎組織も摘出された方。			
3. 対象となる期間	1990年 1月 1日 ~ 2023年 1月 31日			
4. 実施診療科等	内分泌内科、糖尿病代謝内科			
5. 研究責任者	氏名	蔭山和則	所属	内分泌代謝内科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野 笹野公伸			
7. 研究の意義	原発性アルドステロン症の主な原因であるアルドステロン産生腺腫の発生機序や発生母地を探索し、さらにアルドステロン過剰における腎障害を評価することができます。			
8. 研究の目的	本研究では、アルドステロン産生腺腫症例の病変部分の副腎組織を用いて、三次元的立体構築を行う超微形態学的解析法により、細胞内小器官等を主に観察します。これらの所見と臨床データや体細胞遺伝子変異の有無等の情報と比較検討する事でAPAの病態解明および発生母地を探索する事を目的としています。さらに腎組織についても同様に解析を行い、腎障害の程度を評価し、同一症例における血管障害の評価も行います。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	副腎組織、腎組織について解析を行い、副腎腫瘍の体細胞遺伝子変異(既報のもの)についても検査する予定です。 当施設で施行された、腎疾患とAPAの合併症例の病理組織をを東北大学に提供(手術で摘出した副腎組織、腎組織)し、症例の情報についても提供します。カルテ(診療録)より、病歴、治療歴、合併症(高血圧症、糖尿病、脂質異常症など)、内服薬(降圧薬、血糖降下薬)等、検査データ(血漿アルドステロン濃度、血漿レニン濃度、血漿コルチゾール濃度、血漿副腎皮質刺激ホルモン等)の情報を提供しますが、いずれも通常診療で得られたものです。送付方法は、情報は書面で、病理組織とともに郵送とします。 なお、希望すれば検査結果の開示が可能であり、さらに希望があれば遺伝カウンセリングを受けることも可能です。			
10. 個人情報の保護	当施設にて匿名化して、個人情報の漏洩が起こらないように適切に管理いたします。また、名前や個人を識別する情報は、研究結果を公表する際も一切使用いたしません。また、本研究で得られた試料・情報を、将来新たに計画・実施される医学系研究に利用する可能性があります。利用する際は、二次利用することについて文書で同意を取得、またはホームページ上で、別途情報公開を実施し、倫理委員会で承認された後にのみ利用します。			
11. 利益相反に関する状況	本研究は厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服に関する調査研究「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究」班より、本研究の研究責任者である笹野公伸に支給された研究分担金、および共同研究費(生理学研究所)を使用し、企業からの報酬はありません。 当施設では特に利益相反は生じません。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座 准教授 蔭山和則			
	電話	0172-39-5062	FAX	0172-39-5063